人生ハンド仏句

第１６号
Ｈ．１５．７．１
（毎月１日発行）

編集・発行
玉蓮山
真成寺
編集部

今を生きる

住職　谷川寛俊

人間はこの世を楽しみに生まれてきたものである。だから人生を楽しく生きることを考えなければ損である。

そう言うと誰でもお金さえあればと考えたがるが、無論お金は是非必要である。しかし、日本銀行発行の紙幣には限りがあり、人間の欲には限りがないから、誰にでも思うようにお金を手に入れる事はできない。今、持っているお金で楽しく暮らすことを考えなければ、金持ちに成ってから楽しもうと思っていると、大部分の人は当てがはずれるであろう。お金の使い方は身分相応と言う事を知っていれば決してやり損はない。

問題は頭の働かし方にある。ふだん時間勤めをしている人は、日曜祭日の休暇には是が非でも行楽か、娯楽に時間を潰さなければ、この世に楽しみがないように思っている。そして一度に繰り出すから、どこも満員詰めで楽しみよりも苦しみが多くなる。

真の人生は昨日でもなく明日でもない。今日、今の時間だけ確かに自分のものである。「日々これ好日」という諺がある。毎日を楽しむには愛情を以て人に接するに限る。親切と謙譲が自然にやれるようになれば、申し分なく楽しめる。

・人の自慢を嫌がらないで聞ける人になれば楽しめる。
・人の過失を許せる人に成れば楽しめる。
・自分の仕事に魂を打ち込める人になれば楽しめる。
・泣きごとを言わない人に成れば楽しめる。
・真実を貴び、清潔を好む人になれば楽しめる。

要するに楽しみはこの世に山ほどある。その全部を楽しむ人になれば、世界の平和・経済の安定。そして自らの満足が決定するのである。

今日を
精いっぱい
咲く花は
美しい